

あいとぴあレインボープラン

狛江市第4次地域福祉計画

進捗管理

令和2年度報告書

# 目次

序章	はじめに	1
1	進捗管理	3
2	本報告書の構成	3
3	進捗評価の方法	3
4	進捗評価の流れ	4
第1章	重点施策事業別進捗管理シート	5
第2章	重点施策進捗管理シート	19

序章 はじめに



## 1 進捗管理

市では、平成 30 年 3 月にあいとぴあレインボープラン(狛江市第 4 次地域福祉計画)(以下「本計画」という。)を策定し、「みんなで支え合い ともに暮らすまち～あいとぴあ狛江～」を基本理念とし、この基本理念を踏まえた 3 つ施策の体系を設定し、市民福祉の基本理念の実現のため、市民の人権の尊重という観点に立ち、地域福祉の推進を市民と一体となって取り組む必要があります。

そこで、本計画の実効性を担保し着実な進展を図るため、前年度の取組状況について、狛江市福祉基本条例第 26 条第 1 項の規定により設置された狛江市市民福祉推進委員会で、本計画の進捗状況の把握や評価を行うこととします。

## 2 本報告書の構成

### (1)重点施策事業別進捗管理シート

市職員が計画に位置付けられた事業を着実に実施するため、重点施策に係る事業のうち新規に実施する事業等事業の進捗管理が必要と認められる事業について、当該年度に実施したことを「Do(実行)」の欄に、当該事業の実施結果の評価を 3(2)で示す基準に従い「Check(評価)」の欄に、(2)で記載した課題を踏まえた当該事業の改善点を「Act(改善点)」の欄に記載します。

### (2)重点施策進捗管理シート

本計画で掲げた基本理念及び基本目標を実現するために市で

実施すべき重点施策の当該年度における実施状況及び課題を市民に分かりやすく説明するため、重点施策の施策小項目ごとに主な事業を記載するとともに、(1)重点施策事業別進捗管理シートに記載した事業の実施状況及び進捗評価を踏まえて、当該重点施策を実施するに当たっての課題を「施策を実施するに当たっての課題」の欄に分かりやすく記載するとともに、この課題を踏まえて、狛江市市民福祉推進委員会からいただいたご意見を「委員会からの意見」の欄に記載し、次年度の施策の実施に反映させてまいります。

## 3 進捗評価の方法

平成 26 年 7 月に、市が策定している計画の評価基準を 4 段階に統一し、取組みの強化を図るべき評価の目安が示されたことを踏まえ、狛江市市民福祉推進委員会での議論、検討を行い、下記のとおり評価基準とします。

### (1)評価方法

施策の方向性ごとに 4 段階で評価します。

(2) 評価基準

評価基準		評価内容
A	進捗している	・前年よりもより一層取組みを強化 ・年次目標どおり取組みを進捗できた
B	現状維持	・前年同様の取組みを実施(年次目標が現状維持で設定されていた場合を含む。)
C	あまり進捗していない	・前年同様の取組みも行えなかったが、来年度は行う予定 ・年次目標どおりの進捗ができなかった
D	まったく進捗していない	・年次目標どおりの進捗ができず、取組みの目途も立っていない

4 進捗評価の流れ

令和2年度の地域福祉計画の進捗管理は、次表のとおり市民福祉推進委員会において進捗評価を審議し、確定いたしました。



## 第1章 重点施策事業別進捗管理シート



基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課 <sup>1</sup>	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり								
	(1) 新しい包括的な相談支援・サービス提供システムの構築								
	①	a(仮称)相談支援包括化推進員を配置し、包括的相談支援体制構築に向けた研修・広報活動を実施	福 相	60 178 270	-	新たに社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカー1名を相談支援包括化推進員として配置し、市福祉相談課相談支援係長も含めて3名体制となった。昨年度に継続して周知に努め、研修についても国主催の相談支援包括化推進員等への支援と人材養成育成事業等に積極的に参加した。	A	今後、重層的支援体制整備事業の実施に当たっては、相談支援包括化推進員が重層的支援会議等の中心的な役割を果たすことになる。 現状実施している動きを整理し、重層的支援体制整備事業の実施につなげていく。	

<sup>1</sup>「担当課」欄に複数課が記載されている場合は、黒背景白字が「主担当」、白背景黒字が「主担当以外の関係部署」とする。複数課を記載する場合の順序は、狛江市組織規則（平成20年規則第3号）別表第1の順序とする。

<sup>2</sup>福…福祉政策課

<sup>3</sup>相…福祉相談課

基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1			多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり						
			(1) 新しい包括的な相談支援・サービス提供システムの構築						
	①	b 市内商工業者に向けた 社会福祉情報の提供	福	61	-	みんなにやさしい生活空間づくり推進事業補助金のチラシについて商工会を通じて、会員に配布した。	B	社会福祉情報の提供を分かりやすく行い、制度を認知していただき、事業者の活動の中で活用していただく。	
		cコミュニティソーシャルワーカーの配置(2地区目)		62 183	-	こまえ苑エリアに新たにコミュニティソーシャルワーカーを配置した。シニア向けの地域情報誌「いこいの便り」の創刊や、小学生から高校生向けの学習支援マップの作成、シニアの生活上の困りごとに対して障がいのある方が有償で訪問支援する仕組みづくり、PTA 連合会との連携によりランドセルのリユースの仕組みづくりに取り組む等初年度から様々な地域支援、地域づくりを行った。	A	今後も地域の特徴に合った地域支援、地域づくりを行うとともに、あいとぴあエリアとこまえ苑エリアのコミュニティソーシャルワーカー同士で情報共有を行いながら事業を実施していく。また、こまえ苑エリアでの新たな多世代交流拠点の創設や設立にも関わり、住民のつながりの機会を作っていく。	

基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり								
	(1) 新しい包括的な相談支援・サービス提供システムの構築								
	①		d市役所が閉庁し、かつ、 地域包括支援センター が閉所している際に対応 する電話相談の実施	福	62 179 271	-	本事業の実施には相当な費用が発生するが、委託事業者では相談者から個人情報を聞き出すことができないため、相談者に対する継続的な支援が難しいといった問題点がある。24時間の電話相談体制を整備するための代替的な事業として、国、東京都、市・関係機関、民間事業者等各種相談窓口について調査し、情報を整理した上で、市公式ホームページに掲載するとともに、庁内関係部署、市内関係機関に情報共有した。適宜情報更新を行っている。	B	様々な生活課題を抱える市民の相談窓口については、実施機関が国、東京都、市・関係機関、民間事業者と多岐にわたっているととも、対応可能な相談内容も様々である。また、相談時間、相談方法等もそれぞれ異なる。そこで、これらの情報を整理して周知することにより、市民にとって分かりやすい情報提供を行うことができた。適宜、情報更新を行っていく。

基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり								
	(2) 新しい支援体制を支える環境整備								
	①	a第2期福祉カレッジ開催 (定員 20人程度)	福	65	定員 20人 程度	<p>コロナ禍での開催となり、感染防止対策としてカリキュラムを大幅に変更した。</p> <p>講義回数は前年度の13回から6回に減らし(1回当たりの講義時間を2時間から3時間に増やした)、途中感染状況の悪化により、日程の延期や集合型の講義を一部映像配信に変更して実施した。</p> <p>平成31年度から、効果的なグループワークを行うため定員を20人から15人に変更して実施しているが、今年度は16人の申し込みがあり14人が修了した。受講生が福祉カレッジ受講後に実現したいと考える地域活動について、コミュニティソーシャルワーカーが関わり支援している。</p>	C	福祉カレッジは受講生同士の交流を重視しているため、集合型の企画を継続していく。また、オンラインの手法も活用する場合でも受講生同士が意見を交わしたり共有できるような機会を増やしていく。	

基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1			多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり						
			(2) 新しい支援体制を支える環境整備						
	①		a事業所等における人材育成費補助の検討	高 <sup>4</sup>	65	-	介護人材の確保を目的に、訪問介護事業所等で有資格者となる「介護職員初任者研修」又は「生活援助従事者研修」を修了後、一定期間、市内介護事業所に就労していることを要件に研修費を補助する事業を実施した。 令和2年度は5名に補助を行った。	A	補助事業を広報こまめ、市公式ホームページに掲載するとともに、狛江市認定ヘルパー登録者、介護事業者連絡会で事業者に周知を行っている。より効果的な方法により周知を行っていく。

<sup>4</sup> 高…高齢障がい課

基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり								
	(2) 新しい支援体制を支える環境整備								
	②		a「福祉のまちづくり委員会」 準備会の検討・開催(2 地区目)	福	66	-	福祉カレッジの修了生(1~3期)を 中心メンバーに、3地区に福祉のま ちづくり委員会(仮称)の展開を目指 しており、そのきっかけとなる修了生 向けの企画「One Meet」を開催し た。当日は19人が参加し、前半に 基調講演、後半に3地区に分かれ て地域診断のグループワークを行 い、こまえ苑エリアとこまえ正吉苑エ リアにおいては、今後定期的にエリ アミーティング(福祉のまちづくり委 員会(仮称))を実施していく運びとな った。あいとびあエリアについては修 了生の参加人数が少なく自主的な 動きには至らなかったため、令和3 年度以降の動きを目指す。	C	各地区で自主的な組織とし て展開されるようにバックアッ プしていく。 委員会は町会役員や民生委 員・児童委員も含まれる福祉 カレッジ修了生が中心メンバ ーとして活動していくが、挙げ られる課題に応じてその分野 で活動する方も呼び込みな がら展開を図っていく。

基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり								
	(2) 新しい支援体制を支える環境整備								
	③		a医療・福祉分野の横断的な研修実施	福	66	-	医療と介護の多職種連携研修会を実施して、困難事例の検討をグループワーキングで行う等、より実態に則した研修会を行った。また初のオンライン研修会形式を採用し、従来参加が困難であった職種からの参加も確保できた。	B	国の制度が確立していない中ではあるが、市として可能な範囲で複数の分野の横断的な研修会等を今後も実施していく。

基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり								
	(5) 生活困窮者等への支援								
	①	e家計相談支援事業実施 の検討	相	75	-	生活困窮者自立支援制度上の 名称が変更され、家計改善支援 事業として、令和2年度より事業を 開始した。新たに相談員を増員し て体制を強化したが、新型コロナ ウイルス感染症の感染拡大によ り、住居確保給付金の相談及び 申請が急増し、その対応に追われ る状況となった。年度後半から家 計改善支援事業を本格化させ、 支援プランの充実を図っている。	A	家計改善支援事業により、家 計が見える化することができ るようになったが、相談者の 行動変容に結び付ける手法 の研究が必要である。今後、 家計改善支援事業の実績を 積み上げ、相談者が自ら家 計改善に取り組むことができ るように、行動変容を促すノウ ハウを蓄積し、その活用を図 っていく。	

基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
1	多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり								
	(5) 生活困窮者等への支援								
	①		g 若者支援マップの配布 (マップを活用した自立に 困難を抱える若者又は その家族へ関係機関の 情報提供の実施)	子 <sup>5</sup>	76	-	若者支援マップを公共施設やイ ベントにて配布する等、自立に課 題を抱える若者及びその家族等 を含めて幅広い年代の方の目に 触れるように周知を図った。また、 新たに市内における若者居場所 マップを市公式ホームページ上で 作成し、居場所の見える化を進め た。	A	ガイドの周知を引き続き進め るとともに、若者の社会とのつ ながりや自立につながるよう、 支援窓口の明確化等を進め ていく。また、作成した若者居 場所マップについて、適宜情 報を更新し、分かりやすく情 報を提供していく。

<sup>5</sup> 子…子ども政策課

基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
2	ともに生きる豊かな地域づくり								
	(2) 市民主体による地域資源創出の支援								
	②	a元気高齢者による世代間 交流の場の運営	福	89 168 289	-	あいとぴあエリアではコミュニティー ワーカー等の支援により地 域住民が運営主体として参加する 「よしこさん家」が開設されている。 さらに、こまえ正吉苑エリアで介護 予防・日常生活支援総合事業B型 事業所を兼ねる「野川のえんがわ こまち」が地域福祉推進事業補助 金を活用して世代間交流の場の運 営を開始した。	A	こまえ苑エリアにおける元気 高齢者による世代間交流の 場の設置に向けて、場所及 び運営主体の調整を行って いく。同時に、令和3年度に 実施される多世代交流の小 さな拠点(まちの縁側)の整 備に向けたアクションリサーチ により取りまとめられる提言を 参考にしながら取組みを進め ていく。	

基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
2	ともに生きる豊かな地域づくり								
	(3) 市民主体による地域生活課題の解決力強化の支援								
	①	a「福祉のまちづくり委員会」 準備会の検討・開催(2 地区目)	福	92			基本目標1(2)②a(P12 参照)		
		コミュニティソーシャルワ ーカーの配置(2地区目)	福	92 183 271			基本目標1(1)①c(P8参照)		
	②	a元気高齢者による世代間 交流の場の運営	福	93 168 289			基本目標2(2)②a(P16 参照)		

基本 目標	施策		Plan(主な事業内容 (2020年度))	担当課	頁	指標	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善点)
	大	小							
3 安心・安全に暮らせるまちづくり									
(1) 防災・防犯体制の充実									
	①	a個別計画の策定		福	95 170 291	-	75歳以上のみで構成する世帯を対象に勧奨通知を送付し、個別計画の策定を行った。	B	令和3年度以降は新規対象者への対応を行っていく。
	②	a福祉避難所必要物品の備蓄		福	96 170 291	-	狛江市避難行動要支援者避難支援連絡協議会にて検討した福祉避難所必要物品一覧の中で、消費期限のない物品(特に必需品とした物品)を優先的に購入している。令和2年度には、おんぶ紐、歩行補助杖、痰吸引器、エアーストレッチャー等を購入した。	A	各被災地で役立つ備蓄品の情報を収集するとともに、今後も継続的に避難行動要支援者避難支援連絡協議会での議論を重ね、昨今の災害及び新型コロナウイルス感染症の感染予防を踏まえ専門職団体や障がい者団体等と情報交換をしながら備蓄を進めていく。

## 第2章 重点施策進捗管理シート



基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1			多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり					
			(1) 新しい包括的な相談支援・サービス提供システムの構築					
	①		複合的な課題に対応できる包括的な切れ目がない相談支援体制の整備を進めます。	a(仮称)相談支援包括化推進員を配置し、包括的相談支援体制構築に向けた研修・広報活動を実施	福 相	60 178 270	今後、重層的支援体制整備事業の実施においては、相談支援包括化推進員は重層的支援会議等の中核となる。 現状実施している動きを整理し、重層的支援体制整備事業の実施につなげる必要がある。	・アウトリーチを必要とする対象者につながる入口は多様に存在すると思われるため、対象者情報を早期に把握するための手段の模索については、相談支援包括化推進員の役割の1つとして、検討・整理していくことが必要である。 ・限られた人員と時間の中、地域ケア会議等既存の会議体を重層的支援会議として位置付けるに当たり、地域ケア会議等、現在の取組みを整理することは重要である。

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1			多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり					
			(1) 新しい包括的な相談支援・サービス提供システムの構築					
	①		複合的な課題に対応できる包括的な切れ目がない相談支援体制の整備を進めます。	b市内商工業者に向けた社会福祉情報の提供	福	61	みんなにやさしい生活空間づくり推進事業補助金については、市内商工業者がより活用しやすいものであることを周知する等、市の社会福祉情報の効果的な周知を実施していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業者は客の異変に気付くことや、悩みを聞くことがある。そのような商工業者を、問題の早期把握のための重要なアクターとして位置付ける施策づくりも検討されると良い。</li> <li>・福祉に関する情報は、関係者以外には十分伝わっていないと思われるので、継続的な周知は必要である。</li> </ul>

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1			多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり					
			(1) 新しい包括的な相談支援・サービス提供システムの構築					
	①		複合的な課題に対応できる包括的な切れ目がない相談支援体制の整備を進めます。	cコミュニティソーシャルワーカーの配置(2地区目)	福	62 183	・エリアにより地域資源の数や種類が異なるため、地域の特徴に合った地域支援、地域づくりを行う必要がある。あいとぴあエリアとこまえ苑エリアのコミュニティソーシャルワーカー同士で情報共有を行いながら事業を実施していく。	コミュニティソーシャルワーカーが配置されている機関・組織がコミュニティソーシャルワークの機能を持ち、有機的に発揮できる仕組みを作り上げることや、包括的な相談支援体制の仕組みの中に、コミュニティソーシャルワーカーの機能を持たせることが重要である。

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たった課題	委員会からの意見
	大	小						
1			多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり					
			(1) 新しい包括的な相談支援・サービス提供システムの構築					
	①		複合的な課題に対応できる包括的な切れ目がない相談支援体制の整備を進めます。	〇コミュニティソーシャルワーカーの配置(2地区目)	福	62 183	・新型コロナウイルス感染症がまん延する中でアウトリーチの機会が減っているため、出張型の相談会等も企画していきたい。	アウトリーチは積極的に実施すべきである。通いの場等での住民同士の対話で出たSOSを把握することや、福祉以外の分野(ライフライン従事者等)からの情報提供、SNSを活用した相談受付等、手法は多様に模索して欲しい。

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1	多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり							
	(1) 新しい包括的な相談支援・サービス提供システムの構築							
	①	複合的な課題に対応できる包括的な切れ目がない相談支援体制の整備を進めます。	d市役所が閉庁し、かつ、地域包括支援センターが閉所している際に対応する電話相談の実施	福	62 179 271	各事業の市公式ホームページや広報こまえによる紙媒体での情報提供等を今後も行っていく必要がある。	福祉の相談窓口の情報は、必要とされるときでないと調べないため市公式ホームページや広報こまえ等への継続的な周知は必要と考える。	

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たった課題	委員会からの意見
	大	小						
1			多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり					
			(2) 新しい支援体制を支える環境整備					
	①		福祉の担い手となる人材を確保し、育成・養成するための研修等を強化します。	a第2期福祉カレッジ開催(定員20人程度)	福	65	<p>昨年度に引き続き福祉カレッジを開催する。新型コロナウイルス感染症がまん延する中でも参加しやすい魅力的な企画になるよう、修了生の声も取り入れつつカリキュラム等の工夫を行う。また、過去の修了生同士のつながりの機会や積極的な情報発信にもこれまで以上に取り組んでいきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉カレッジの受講生、修了生は、地域に福祉の種を蒔いていく貴重な存在である。一層の工夫をして受講生・修了生を拡大していくことを期待する。</li> <li>・若者や現役世代を含め引き続き多様な市民の参加を促すことができるよう、SNSでの情報発信等、多様な告知方法を検討して欲しい。福祉カレッジ修了生への支援については、市民活動支援センターが担う等、役割分担と福祉カレッジ受講後の明確なサポート体制の整備が必要である。</li> </ul>

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1	多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり							
	(2) 新しい支援体制を支える環境整備							
	①		福祉の担い手となる人材を確保し、育成・養成するための研修等を強化します。	a事業所等における人材育成費補助の検討	高	65	事業の実施状況を踏まえ、より効果的な周知方法を検討する必要がある。	福祉人材の確保は大きい課題だが、現時点では無資格者をステップアップさせていくことが重要だと思う。

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1			多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり					
			(2) 新しい支援体制を支える環境整備					
	②		<p>コーディネート人材を確保し、コーディネート機能の強化を図ります。</p>	<p>a「福祉のまちづくり委員会」準備会の検討・開催(2地区目)</p>	福	66	<p>福祉カレッジ修了生を中心メンバーに、こまえ苑エリアとこまえ正吉苑エリアにおいて定期的に集まる機会を設け、地域生活課題の把握や実現可能な取組みについて検討を進めていく必要がある。</p>	<p>現状では福祉カレッジ修了生有志の自発性に委ねているところが大きいように見受けられる。新型コロナウイルス感染症がまん延する中で対面での集まりが制約される状況ではあるが、「福祉のまちづくり委員会」設置に向けた準備会の役割としてどのようなものを想定し、そこに向けて修了生をどのように組織化するのか、また、修了生以外の市民をどのように巻き込んでいくのか等について、道筋が明確に示して取組みを進める必要がある。</p>

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1			多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり					
			(2) 新しい支援体制を支える環境整備					
	③		医療・福祉分野で横断的に活躍できる専門人材を養成します。	a医療・福祉分野の横断的な研修実施	福	66	市として複数の分野の横断的な研修会等を今後も実施していきながら、国の制度について注視していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールソーシャルワーカー等が直面する学齢期の子どもがいる家庭の福祉的ニーズへの対応や、医療的ケア児の支援等においては、医療・福祉と教育の連携も欠かせない。研修の実施に際しては、必要に応じて教育分野との連携も検討すべきである。</li> <li>・市内の医療、福祉関係者の情報共有ツールであるメディカルケアステーションも広く普及し、具体的な連携も進んでいる。その意味で、実践の周知を含めた研修を組み立てる等検討しても良いと思う。</li> </ul>

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1	多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり							
	(5) 生活困窮者等への支援							
	①	生活困窮者の自立支援を行います。	e家計相談支援事業実施の検討	相	75	実施体制を強化し、令和2年度から事業を開始したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により対面での相談支援の機会が減少した。家計相談支援は、相談者からの情報開示が不可欠であり、信頼関係が重要である。また、家計改善に当たっては、相談者自身が課題を自覚し、日常生活の中で自ら取り組むよう、相談支援を行う必要がある。	個別の支援事例の積み上げのためには、より丁寧な支援が必要なため大変だと思うが、成果を期待する。	

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
1			多様な地域生活課題に応える包括的な支援の仕組みづくり					
			(5) 生活困窮者等への支援					
	①		生活困窮者の自立支援を行います。	g若者支援マップの配布(マップを活用した自立に困難を抱える若者又はその家族へ関係機関の情報提供の実施)	子	76	社会とのつながりが希薄となっている、ひきこもり状態にある方等を抱える当事者家族への周知等について、引き続き検討を進めるほか、市内のひきこもり状態にある方の実態把握を進めていく必要がある。	ひきこもり状態にある方に限定せずに若者支援を考えていく必要がある。進学・就職の失敗や、家庭状況による学業継続の困難、収入基盤が確立しない状況での経済的不安定、精神的な未熟さ等、生活困窮や孤立状況に陥るリスクが相対的に高いライフステージとして「若者問題」を捉え直し、若者期を支えるより広い施策づくり・事業実施が求められている。

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
2	ともに生きる豊かな地域づくり							
	(2) 市民主体による地域資源創出の支援							
	②	多世代交流・多機能型福祉拠点を整備し、多世代交流を促進します。	a元気高齢者による世代間交流の場の運営		福	89 168 289	こまえ苑エリアにおける元気高齢者による世代間交流の場の場所・運営団体の調整及び財源の確保を引き続き進めていく必要がある。	こまえ苑エリアにおける世代間交流の場の調整を進めると同時に、現在オーナーさんの自己負担によって運営されている「よしこさん家」、地域福祉推進事業補助金を活用しつつボランティアベースの活動に限界を抱えている「野川のえんがわ こまち」についても、市民の自発性を基点としつつ、持続可能な運営のためにどのような財源確保の手段が講じうるのかを検討課題とする必要がある。

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たっての課題	委員会からの意見
	大	小						
2	ともに生きる豊かな地域づくり							
	(3) 市民主体による地域生活課題の解決力強化の支援							
	①		地域資源と支援を必要とする人とのマッチングシステムづくりを進めます。	a「福祉のまちづくり委員会」準備会の検討・開催(2地区目)	福	92	基本目標1(2)②a(P27 参照)	
			コミュニティソーシャルワーカーの配置(2地区目)			92 183 271	基本目標1(1)①c(P23 参照)	
	②		多世代交流・多機能型福祉拠点を整備し、多世代交流を促進します。(再掲)	a元気高齢者による世代間交流の場の運営		93 168 289	基本目標2(2)②a(P30 参照)	

基本 目標	重点 施策		施策内容	主な事業内容 (2020年度)	担当課	頁	施策を実施するに当たった課題	委員会からの意見
	大	小						
3	安心・安全に暮らせるまちづくり							
	(1) 防災・防犯体制の充実							
	①	避難行動要支援者 支援体制の構築を 推進します。	a個別計画の策定		福	95 170 291	個別計画の内容に変更があつた場合に、本人や家族等からの申し出がなければ更新しないため、現状に即していないものが生じる可能性がある。更新方法についても検討する必要がある。	個別計画の策定については、コーディネーターの介護支援専門員や相談支援専門員等の認識とご本人や家族への働きかけが重要であるが、同時に更新についても、適時関係者への周知を進めると良いかと思う。
	②	災害時の福祉避難 所の円滑な運営体 制を整備します。	a福祉避難所必要物品の備蓄		福	96 170 291	今後も備蓄物品は増えるため、継続して備蓄場所の確保をする必要がある。備蓄場所の確保に向けて関係部署、関係団体等と調整を続けていく。	適宜整理を行いながら備蓄スペースを有効活用して欲しい。

刊行物番号 R3-41

あいとびあレインボープラン  
(狛江市第4次地域福祉計画)  
進捗管理  
令和2年度報告書  
令和3年11月発行

発行 狛江市

編集 狛江市福祉保健部福祉政策課

〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目1番5号

電話 03-3430-1111 (代)

頒布価格

40円